



2022年10月25日

各 位

上場会社名 NOK 株式会社  
代表者 代表取締役 社長執行役員  
鶴 正雄  
(コード番号 7240)  
問合せ先責任者 IR 部長 五十嵐 清史  
(TEL 03-5405-6372)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年8月2日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正について

#### 2023年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

|                                | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|--------------------------------|---------|--------|--------|------------------|-------------|
|                                | 百万円     | 百万円    | 百万円    | 百万円              | 円 銭         |
| 前回発表予想(A)                      | 351,800 | 4,300  | 12,200 | 7,000            | 40.47       |
| 今回修正予想(B)                      | 352,900 | 5,900  | 16,300 | 10,000           | 57.94       |
| 増減額(B-A)                       | 1,100   | 1,600  | 4,100  | 3,000            |             |
| 増減率(%)                         | 0.3     | 37.2   | 33.6   | 42.9             |             |
| (ご参考)前年同期実績<br>(2022年3月期第2四半期) | 324,368 | 14,868 | 21,830 | 13,001           | 75.17       |

#### 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

|                         | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|---------|--------|--------|-----------------|------------|
|                         | 百万円     | 百万円    | 百万円    | 百万円             | 円 銭        |
| 前回発表予想(A)               | 740,800 | 22,300 | 34,200 | 19,500          | 112.74     |
| 今回修正予想(B)               | 756,900 | 23,300 | 37,900 | 22,700          | 131.53     |
| 増減額(B-A)                | 16,100  | 1,000  | 3,700  | 3,200           |            |
| 増減率(%)                  | 2.2     | 4.5    | 10.8   | 16.4            |            |
| (ご参考)前期実績<br>(2022年3月期) | 682,507 | 31,337 | 46,168 | 25,835          | 149.37     |

## 2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上は前回予想(8月2日公表)と大きく変化はしていませんが、営業利益は、為替変動、および原材料価格の高騰に伴う売価転嫁による増加がありました。経常利益は、為替差益等により増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は有価証券売却益等により増益となります。

2023年3月期通期の業績につきましては、連結売上高は為替影響等により増加する見通しです。シール事業におきましては、中国のロックダウン、半導体等の部品供給不足の影響は徐々に解消しつつありますが、売上の減少に加え、原材料価格の高騰、エネルギー価格の上昇等により、営業利益は減益となる見通しです。一方で、電子部品事業におきましては、為替影響等により売上高が増加する見通しであり、コスト抑制の効果等により増益となる見通しです。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上